

読み聞かせ風
少女体験談
その3





AちゃんはHちゃんに
服を隠されてしまったので、
とりに行かなければいけなくなりました。

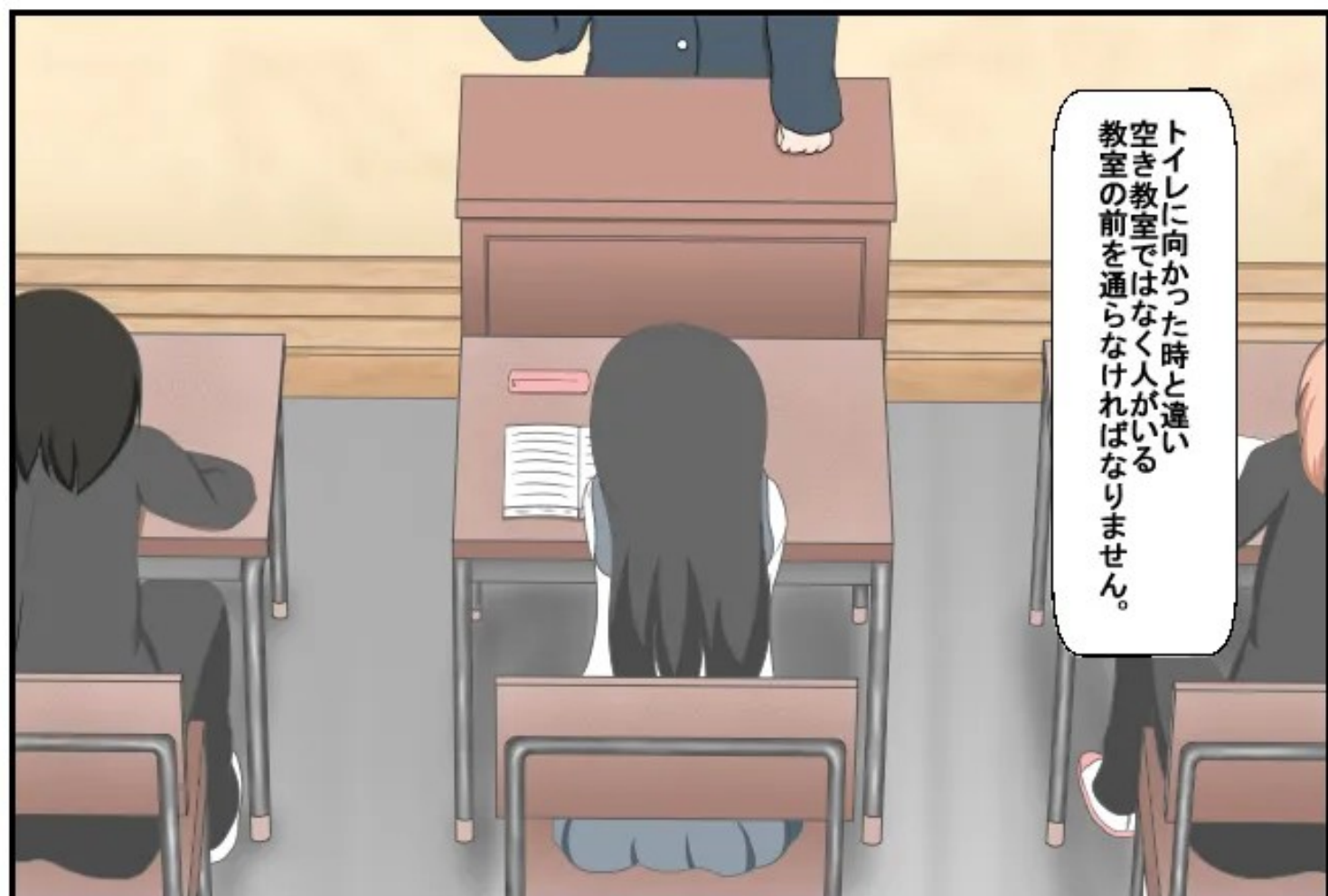
ド
キッ
ドキッ



屋上のニヶ所です。



場所は下駄箱と



四つん這いの姿勢で
通過する事にしました。

ポ
タッ

ポ
タッ

早くいかないと
誰かに見つかって
しまうかもしれません。

壁一枚を隔てて
たくさんの生徒が
授業を受けています。

そうとわかっていても
慣れない歩行姿勢と
体の震えでなかなか前に
ススメないでいました。

ぴゅん ぴゅん

時間をかけて
最後の教室の前まで
来ました。

ここを通過すれば
曲がって少し歩けば
下駄箱に到着できます。

が・・・

「ガラッ」と後ろからドアが
開く音が聞こえてきました。

びゅん
く
く

ガラッ



教室に入る音なら
Aちゃんの姿をずっと
見ていた事になるからです。



Aちゃんは
「誰かが教室から出てきた。」
と思いました。



Aちゃんはおそろおそろ後ろを
振り返りました。



そこにはAちゃんの
予想通り人の姿がありました。



しかしAちゃんとは
反対の方向に歩いていきました。
どうやらAちゃんには
気づかなかったようです。

もう少し
遅く歩いていたなら
見つかっていたでしょう。

プル
プル

プル
プル

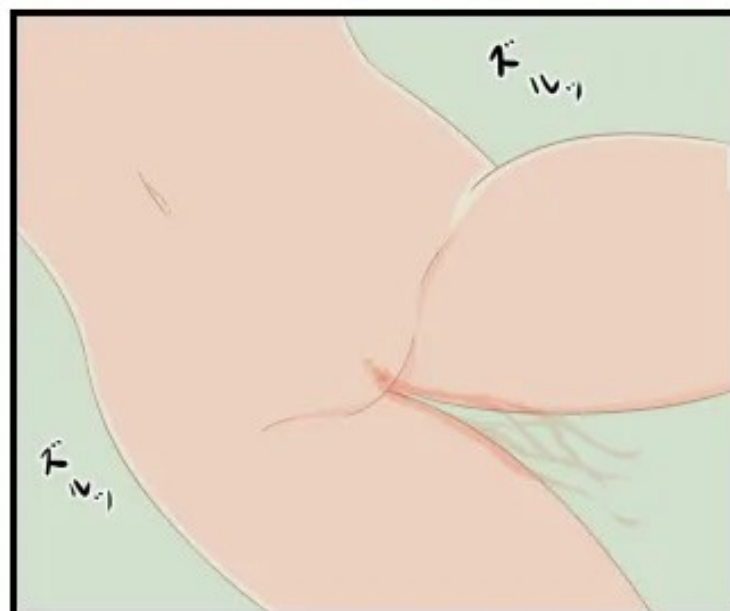


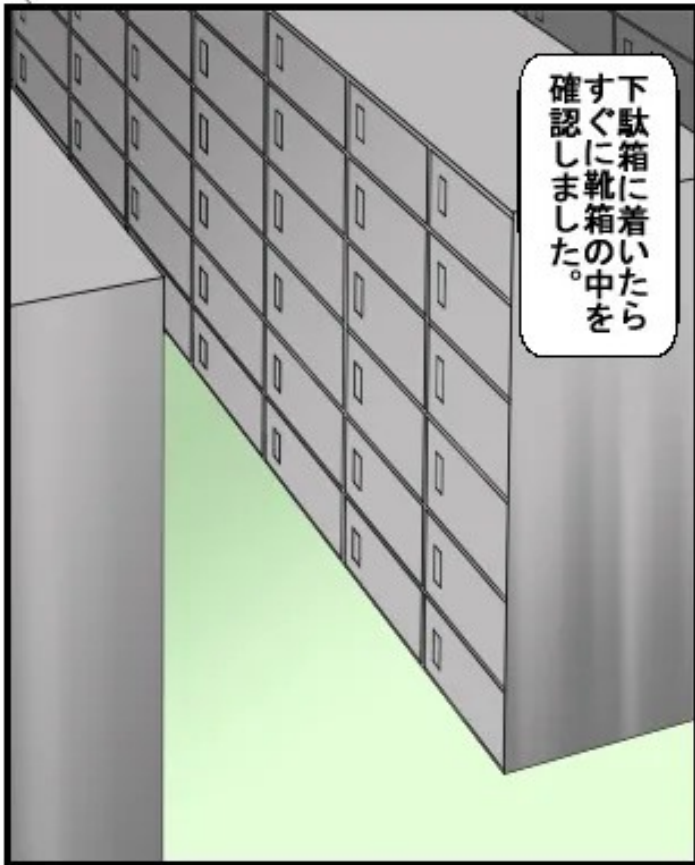
Aちゃんは
安堵からかその場に
へたり込みました。

さっきの生徒が
いつ戻ってくるか
わからないので
ここで止まっています。
訳にはいきません。

ポッ
ポッ

ハッ
ハッ





下駄箱に着いたら
すぐに靴箱の中を
確認しました。



教室をこえて
掃除ロッカーの陰で
少し休んでからAちゃんは
再び下駄箱に向かいました。



入っていたのは
靴下だけでした。

ツッ



とりあえず身につけて
みましたが、乳首もアソコも
丸見えのままです。



次は屋上です。
あとは近くの階段を
登れば終わりです。



「持ってきた服は
ドアの所において
あるから」Hちゃんは
いました。

あつたのは
リボンだけでした。

Aちゃんは
頭に「？」をつけました。

?

それを確認してから
Hちゃんはいました。

ドキッ

「私が隠したのは
リボンと・・・」



「靴下だけだよ。」

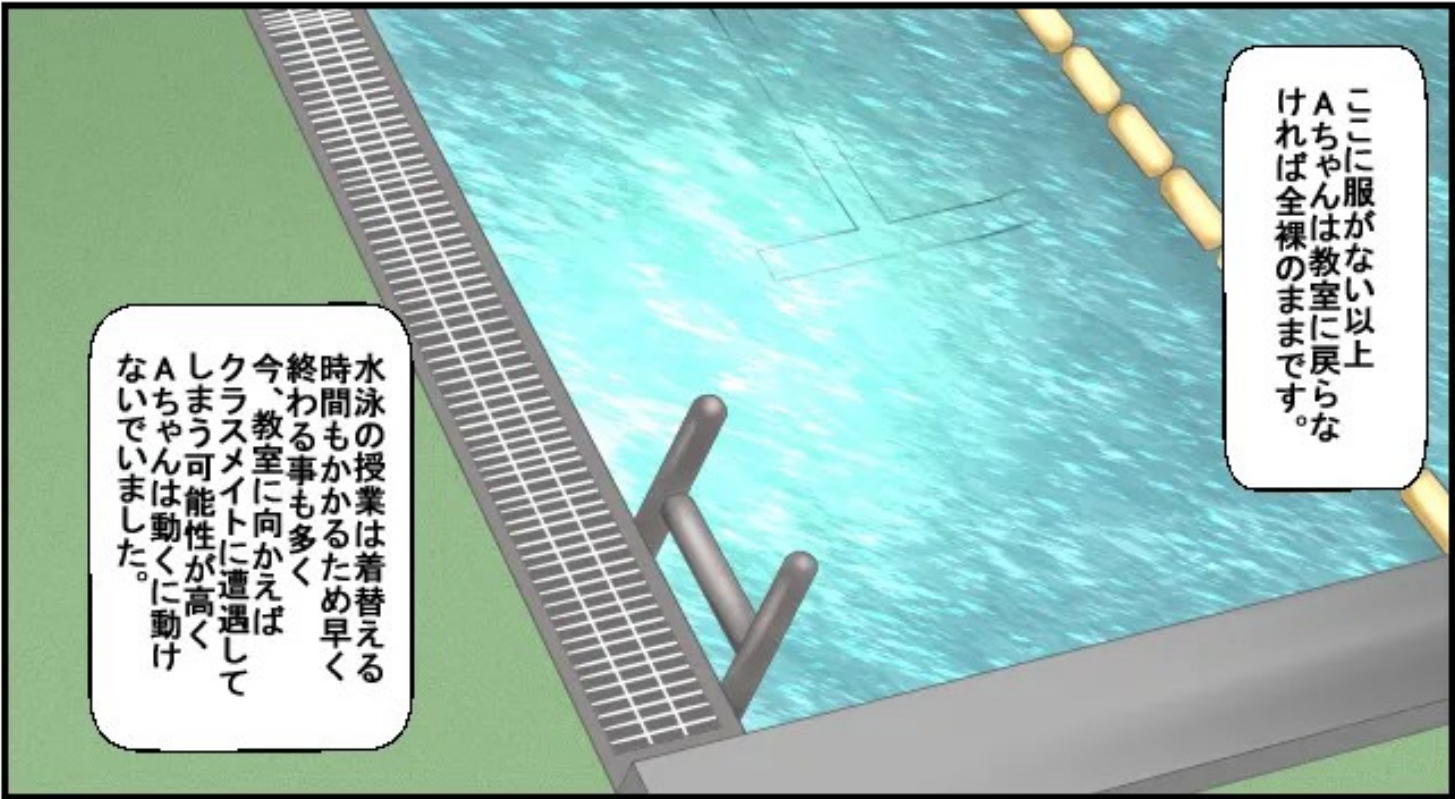


「あとはAちゃんの
机の上に置いてあるよ。」



「あと10分位で
授業が終わっちゃうね。」
とHちゃんは言いました。





ここに服がない以上
Aちゃんは教室に戻ら
なければ全裸のままです。

水泳の授業は着替える
時間もかかるため早く
終わる事も多く
今、教室に向かえば
クラスメイトに遭遇して
しまう可能性が高く
Aちゃんは動くに動け
ないでいました。



それを見てHちゃんは
「私が持つてこようか？」

「服をここまで持つてきてあげるよ。」
つと提案してきました。





そして



次の日から2人は一緒に
登校するようになりました。



ぐっ



言われたとおり
ちゃんと履いてないよ。

Aちゃんの露出調教が
始まりました。

あ と が き

「読み聞かせ風少女体験談 その3」をお買い上げいただき
ありがとうございます。

前回のその2からかなりの時間が経っての発行となりましたが、
それでも引き続き購入してくれている方、新規に購入してくれた方、
本当にありがとうございます。

まだまだ、至らないところもありますがこれからもうくごープラス
をよろしくお願いします。

さくさく

服を隠したのふみかちゃんだね。

なんで服を持ってきて
貰うのに明日から露出調教
されるの？

おかいあげ
ありがとうございます。



ろくごー
プラス

